

# 北陽だより

今年度の重点目標 自ら進んで考え、友だちと学び合い、  
分かるように伝え合うことのできる子どもの育成

## 縦割り班活動と「他者理解」

校長 金崎 徳子

日ごとに暑さが増し、北海道らしい爽やかな夏を感じるこの頃です。感染症と熱中症の予防対策をしながらですが、5年生の宿泊学習、7月に予定している遠足、延期となっていた運動会など、学校行事が実施できることをうれしく思います。

さて、北陽小では、毎年1年に2回いじめアンケートを実施し、いじめの実態把握と早期解消、未然防止の取組を行っています。もちろんいじめやトラブルの発見は、アンケートだけではなく、本人や保護者からの訴えや相談、教職員の気づきでわかることもあります。今年度も1回目のアンケートを実施しました。平成29年度から、いじめの把握を「いじめられているか」ではなく、「嫌な思いをしたか」を聞き取ることで、いじめの未然防止につなげているのですが、今回の結果はなんと「嫌な思いをした」が70件近くにのぼりました。

アンケート後の教育相談で、担任が詳しく聞き取りを行い、その「嫌な思い」のほとんどが友達との一時的な喧嘩や、無視、仲間はずれなどであることがわかりました。重大な件はなかったのですが、そのトラブルが重大ないじめのきっかけにもなり得るので丁寧に聞き取り、指導を行い事後の見守りを行っています。その中で、特に印象的だったのが、自分がされたことに対して被害意識が強く、逆に嫌な思いをさせたことは全く何とも思っていないとか、気づいていないという件が何件かありました。もともと人は自己中心的です。成長の過程でさまざまな人との関りから、他者を理解し、思いやりの心をもつことができるように成長していくと思います。先週の全校朝会では、「相手はどう思うか」をよく考えて行動することを子どもたちに話しました。自分の気持ちややりたいこと、自分の楽しさをばかりを優先せず、「相手はどう思うか」を考えて行動することによって、みんなが気持ちよく安心して生活できる学校にしたいと話しました。

縦割り班活動も他者を理解するという面でとても大事な活動です。毎日の掃除や縄跳びチャレンジ、7月に予定している遠足も縦割り班での活動となります。教室のように学年がそろっている集団で過ごすとはちがって、グループには1年生から6年生までいるので、年齢も知識も体力も違う人と活動します。高学年のリーダーシップを育むことはもちろんですが、異学年での活動は他者への理解につながります。例えば、高学年は、自分よりも体力のない下級生の疲労を気遣いながら歩かなければなりません。自分は平気でも「低学年は辛いかな？つかれたかな？」と常に考え、声をかけながら行動します。2列になって歩くとき、車道側を上級生が歩くなど、常に自分より下の学年を優先して行動します。低学年も、自分よりも体力があり、頼りがいがある上級生の姿を見て過ごします。そして、やさしくしてもらってうれしかったという経験をするのです。

そんな縦割り班活動も現状ではまだまだ制限がある状況です。感染状況によっては、学年を超えた感染を防ぐため縦割り班活動は実施できなくなりますので、1日も早いコロナ禍の収束を願うばかりです。

☆できない 失敗 あたり前 そこからの一歩前進！

## タブレットを活用して

今年度より GIGA スクール構想として、一人1台端末としてタブレットが倶知安町でも配られました。子どもたちが取り扱うにあたり、教育委員会が中心となり様々な準備をして、子どもたちも使えるようになりました。現在は、主に中・高学年の子どもたちが、タブレットの操作方法を学び、調べ学習やアンケートに答えたり、双方向での配信に取り組んだりしています。子どもたちはあつという間に使い方を習得し、どんどん意欲的に取り組んでいます。子どもの吸収するスピードには本当に感心します。今後、全学年で使えるように、授業の中で扱っていく予定です。



## 縄跳びチャレンジ

今年度は、朝の時間を活用し、たてわり班で「縄跳び検定」にチャレンジしています。高学年が下の学年の跳ぶ回数を数えてあげたり、アドバイスをしあげたりするなど、子どもたち同士で励まし合い、助け合う姿が見られました。毎年、縄跳びに一生懸命取り組んでいる北陽の子どもたち。さらに腕前を上げてくれることと思います。



## 【倶知安プラン】～町内でそろえる

「倶知安プラン」とは、『学校で統一した取組』を進めることによって、児童が安定し、学年ごとに必要な資質・能力を身に付けることができるという考えのもと、【学習規律】【授業の流れ】などを町内全ての学校でそろえる取組です。倶知安町は5つの小学校が1つの中学校に進学します。ですから、義務教育9年間で力を積み上げていくことができます。そして何よりも子どもたちが困ることなくスムーズに中学校生活を送ることができます。

今年度からのスタートですが、北陽小学校にとっては新しい取組ではなく、今までやってきたことと同じです。ただ「そろえる」のではなく、学習規律にしても、なぜ意識しなければならないのかをしっかりと押さえて指導していきたいと考えています。この「倶知安プラン」は先生方の研修や働き方改革などにも取り組んでいます。それらについても今後お知らせしていきます。

**倶知安町5つ星 HAND IN HAND**

|         |               |
|---------|---------------|
| ★ 準備    | 学習の用意をします。    |
| ★ 授業前   | チャイムの前にすわります。 |
| ★ 授業の挨拶 | あいさつのあと礼をします。 |
| ★ 座り方姿勢 | 背すじをのばします。    |
| ★ 話の聞き方 | あいての目を見て聞きます。 |

## 石岡先生、今までありがとう！

令和元年度より本校の学習支援員として働いてくれていた石岡 未来先生が、ご家庭の都合により、6月30日で退職することとなりました。本当に残念ではありますが、新しい土地でも、お体に気をつけてご活躍くださることを願っています。以下、石岡先生の挨拶文です。

この度、夫の転勤が決まり、青森に引っ越しをすることになりました。北陽小学校に初めて来たとき、子どもたちは元気な声で挨拶をしてくれました。毎日、元気に運動する姿、熱心に勉強に取り組む姿、何事にも頑張って挑戦する姿は、今でも私の心に焼き付いています。

子どもたちが日々成長する姿を見て、たくさんのことを学び、私自身も大きく成長させてもらいました。そして、子どもたちと一緒に勉強することができて、とても楽しい時間を過ごすことができました。北陽小の子どもたちと出会えたことを幸せに思います。ありがとうございました。 石岡 未来

緊急事態宣言が解除となり、延期となっていた行事も実施できることになりました。とはいえ、新型コロナウイルスが収まったわけではありません。引き続き新型コロナウイルス感染予防対策の徹底に努めていきたいと思っています。また、暑い日も多くなると思いますので、熱中症対策も意識して取り組んでいきます。ご家庭でも、子どもたちの健康管理を引き続きよろしく願いいたします。

※運動会は以前お知らせしたとおり、7月17日（土）に実施する予定です。近くなりましたら詳細について改めてお便りを出します。